

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 7.2.1.1 雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損))

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-3
提出年月日	令和5年3月1日

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
230207-17	1	比較表30ページ) CORA実験においてPWRの燃料を対象に実施しているものについて、記載の必要性について検討し、説明すること。	R5.2.7	本日回答		BWRは特有の制御棒ブレードやチャンネルボックスが炉内にあるため、炉心ヒートアップの妥当性確認としてそれらを模擬した燃料体系でのCORA実験についても参照していると理解しており、一方PWRは、実機PWRで発生したTMI事故の再現解析にて妥当性を確認している。よって、CORA実験での妥当性確認までは必須ではないと認識しています。	-	
230207-20	2	添7.2.1.1.3-2ページ) 最高使用圧力に到達する時間の大飯との相違について、相違理由を説明すること。	R5.2.7	本日回答		最高使用圧力に到達する時間の相違は主にCVの型式によるものです。大飯のCV型式はPCCVであるためCV内のヒートシンクの効果が大きく、圧力上昇が緩慢となり最高使用圧力到達が泊に比べて遅くなります。	資料1-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.6.0)』 P. 添7.2.1.1.3-2	

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。